

産業建設委員会

当委員会では、今後の産業政策の柱としての観光と地域の均衡ある発展とその持続可能性、環境政策と1次産業の振興についてを重点調査項目とし調査研究を進めています。7月31日から8月2日にかけて、先進地を訪問し、高山市との比較や課題などを調査しました。

■再生可能エネルギーによる地域社会実現【北海道上川郡下川町】

下川町は、2008年7月に環境モデル都市に認定。ついで環境未来都市に選定され、経済・環境・社会のバランスのとれたまちづくりを目指してきました。2018年にはSDGs未来都市にも選定されました。

現在、木質バイオマスエネルギーの活用で公共施設の熱供給の68%を再生エネルギーへ転換しています。また、木質原料製造施設を町内で設立して生産を行っており、市民と共に持続可能なまちづくりに取り組んでいます。一の橋バイオビレッジでは、熱供給施設を中心に町営住宅や菌床椎茸栽培に活用したり、農山漁村再生可能エネルギー法を活用し、バイオガスプラントとして家畜糞尿からの発電を導入し、同時に良質な肥料を再生するなど環境都市の歩みを実践しています。

高山市においては、平成28年1月に高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会から提出された「高山市自然エネルギーによるまちづくりに関する提言書」について、その後の行政施策の検証を行い、将来のビジョンを整理する必要性を感じました。



■富良野ビジョン2030【北海道富良野市】

富良野市は激変する経済環境を見据えて、2018年度に観光政策の指針となる「富良野ビジョン2030」を策定し、バックキャストिंगの手法で活動を行っています。

アクションプランとして、予定期間を3期に分け、第2期（インバウンド回復前後のアクション）以降の目標を次の3点とし、取り組んでいます。

- ①ウイズコロナにおける観光誘客（宿泊獲得）戦略
- ②マーケティングに基づいた顧客プロモーションと分析
- ③エリアが一体となった持続可能な観光地モデルの形成

観光は一部の観光関連事業者のためのものではなく、幅広いステークホルダーと共に磨き上げていくものであり、今後の政策提言に向けて広く意見を聴取しながら進めていきたいと考えています。

広報広聴委員会

当委員会では、議会広報誌の発行や議会モニター、市民意見の常任委員会への振り分け等を継続して実施しています。さらに本年度は、広報広聴機能の強化を図るための施策について検討・協議中です。

■地域別市民意見交換会

今年度の開催に向けて、開催方法などについて委員会で協議を行いました。詳細は、16ページ(裏表紙)をご覧ください。

■高校生との意見交換会

新型コロナウイルスの影響により2年間中止していました高校生との意見交換会については、今年度の開催に向けて、従来の開催方法を変更し、参加される各高校のスタイルに合った対応を検討するため、各高校を訪問し、先生方のご意見を伺いながら委員会で協議を行っています。

「市民とともに考える議会」の責任を果たすためにも、より多くの市民の皆様との対面による対話を通じて広報広聴機能の充実を図りたいと考え、調査を進めています。